

熊本県立こころの医療センター 第3次中期経営計画(概要版)

計画改定の背景

■国の動向

- ・新公立病院改革ガイドライン(総務省:H27.3)
- ・「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会報告書」(厚労省:H29.2)
- ・「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会報告書」(総務省:H29.12)

■児童・思春期医療と地域生活支援に対するニーズ

■熊本地震(H28.4)を踏まえた新たな課題への対応

基本理念

- ・熊本県精神科医療の中核機能を有する短期治療型の病院
- ・政策的医療を中心とした高度医療サービスを提供する病院
- ・利用者の人権に配慮したアメニティーに富んだ病院
- ・地域とのつながりを持った開放的な明るい病院

関係計画等

- ・熊本復旧・復興4カ年戦略(H28.12)
- ・第7次熊本県保健医療計画(H29年度策定予定)
- ・熊本県地域医療構想(H29.3)
- ・第5期熊本県障がい者計画(H27~32:H29年度中間見直し)
- ・熊本県障がい福祉計画(第5期障がい福祉・第1期障がい児福祉計画:H29年度策定予定)

第3次中期経営計画の概要(計画期間 H30~H35)

1 県立の精神科医療機関の役割として、セーフティネット機能の維持・充実に努めるとともに、政策的・先導的精神科医療に積極的に取り組む。

- ①セーフティネット機能の維持・充実(措置入院患者等の受入れ/未治療者の早期発見・治療/休日・夜間における救急患者等への対応/医療観察法による指定通院医療機関としての対象患者の社会復帰支援)
- ②政策的・先導的精神科医療への積極的取組み(こころの思春期外来の診療体制強化/思春期ユニットにおける入院診療体制の構築/児童・思春期専門医の育成・確保)

2 医療の質の向上と安全を確保し、患者や家族等との相互協力のもと、利用者の立場に立った医療の提供を行う。

医療の質の向上と安全の確保(医療スタッフの確保と資質の向上/医療安全管理対策等/患者本位の医療の提供/患者サービスの向上)

3 国が進める「入院医療中心から地域生活中心へ」という方向に沿って、患者の社会生活に向けた支援の充実に努め、短期治療型の病院を目指す。

地域生活支援機能の充実・強化(社会復帰リハビリテーションの強化と先導的な社会復帰支援活動の継続・充実/患者の社会復帰・地域生活を支援するための体制強化/効果的な訪問看護活動/患者の社会復帰に向けた課題・問題点等の解消/多職種による効率的・効果的なリハビリテーションの実施/他の社会資源との連携・活用)

4 精神科医療を支える人材の教育・研修の推進やDPATの派遣を含む精神科災害医療への対応等、地域に貢献できる病院を目指す。

- ①県内精神科医療を支える人材の教育・研修の推進(大学・専門学校等の学生の教育・研修/臨床研修医・民間医師・医療従事者の教育・研修/専門学校等への講師派遣/医師等の長期派遣研修/専門医制度の研修連携施設としての専攻医の教育・研修/県が進める社会学系専門医育成に係る教育・研修への協力)
- ②地域への貢献(熊本DPAT先遣隊登録と大規模災害時の派遣体制の整備/CVPPPインストラクター・認定看護師の養成と講師派遣/精神科医療機関がない地区等における精神保健活動への協力・支援/学会・講演会等での発表/各種審議会等公的業務への協力)

5 これらの基本方針を実現するため、職員の勤務環境を改善していくとともに、運営体制を強化し、安定した経営基盤を確立する。

- ①運営体制の強化(診療体制の再構築/効率的な業務運営体制の確立/各種委員会の効率的・効果的な運営/民間の有識者等で構成する運営評価委員会による評価)
- ②安定した経営基盤の維持・向上(職員参画の病院経営/経営収支の健全化)
- ③職員の勤務環境の改善(医療クラークや電子カルテの導入/勤務環境改善チームの設置/職員のメンタルヘルスクア対策)

1 収益的収支の推移

科目	H28	H29予算	H30	H31	H32	H33	H34	H35
経常収益	1,680,247	1,638,776	1,721,229	1,726,120	1,719,863	1,715,256	1,710,509	1,707,466
医療収益	886,485	856,426	845,079	846,247	844,399	844,399	844,399	846,247
うち入院収益	712,399	686,593	674,471	676,319	674,471	674,471	674,471	676,319
うち外来収益	169,294	166,033	165,817	165,137	165,137	165,137	165,137	165,137
医療外収益	793,762	782,350	876,150	879,873	875,464	870,857	866,110	861,219
うち一般会計負担金	763,854	759,766	856,301	860,996	856,587	851,980	847,233	842,342
経常費用	1,618,460	1,637,536	1,720,785	1,708,516	1,706,077	1,698,910	1,691,424	1,684,695
医療費用	1,544,238	1,569,395	1,658,962	1,653,202	1,657,470	1,657,213	1,656,847	1,657,455
うち給与費	1,061,626	1,045,338	1,090,456	1,090,456	1,090,456	1,090,456	1,090,456	1,090,456
うち材料費	79,858	79,521	77,457	78,176	78,892	78,892	78,892	78,892
うち経費	256,928	295,803	336,954	329,654	332,007	332,007	332,267	332,007
うち研究研修費	7,403	9,699	13,404	13,530	13,654	13,654	13,654	13,654
医療外費用	74,222	68,091	61,773	55,264	48,557	41,647	34,527	27,190
予備費	0	50	50	50	50	50	50	50
(経常損益)	61,787	1,240	444	17,604	13,786	16,346	19,085	22,771
(累積欠損金)	-239,000	-237,760	-237,316	-219,712	-205,926	-189,580	-170,495	-147,724

2 資本的収支の推移

科目	H28	H29予算	H30	H31	H32	H33	H34	H35
資本的収入	0	0	0	0	206,594	195,938	200,251	192,034
うち一般会計負担金	0	0	0	0	206,594	195,938	200,251	192,034
資本的支出	248,322	342,003	317,492	317,098	335,743	312,127	318,380	299,502
うち建設改良費	41,649	129,198	98,369	91,466	103,404	72,878	72,010	45,795
収支差	-248,322	-342,003	-317,492	-317,098	-129,149	-116,189	-118,129	-107,468

3 一般会計負担金の推移

区分	H28	H29予算	H30	H31	H32	H33	H34	H35
収益的収入分	763,854	759,766	856,301	860,996	856,587	851,980	847,233	842,342
資本的収入分	0	0	0	0	206,594	195,938	200,251	192,034
合計	763,854	759,766	856,301	860,996	1,063,181	1,047,918	1,047,484	1,034,376

4 中期指標

指標	H28	H29見込み	H30	H31	H32	H33	H34	H35
医療収支比率	57%	55%	51%	51%	51%	51%	51%	51%
経常収支比率	104%	100%	100%	101%	101%	101%	101%	101%
給与費対医療収益比率	120%	122%	129%	129%	129%	129%	129%	129%
一般会計負担金(収益)対医療収益比率	86%	89%	101%	102%	101%	101%	100%	100%

【経営目標】

項目	第2次計画(H25~H29)	H29見込み	第3次計画(H30~H35)
一般精神病床利用率 ※	(82.0%)	82.6%	86.0%
児童・思春期専用病床利用率	—	—	55.0%
外来患者数(人/日)	—	113.3	110.0
デイケア延べ人数(人/月)	—	441.8	500.0
作業療法延べ人数(人/月)	—	1,286.5	1,210.0

※第2次計画は、結核病床(10床)を含む利用率